

UW-L Culture & Education short stay program に参加した学生の感想

○初等教員養成課程1年（参加時、以下同じ）

アメリカはヨーロッパの各国と違い、様々な民族的背景を持つ人と出会うことができたのが一番よかったです。スクールビジットではその民族的背景に関係なく、一緒に勉強している子供たちの姿をみることができました。

子供たちにはたくさんの人、さまざまな民族、国の人と友達になって話す素晴らしさを教えたい。アメリカに留学したいと考えているので、留学する前にアメリカの大学などを見ることができてよかったです。

○初等教員養成課程1年

研修を通して、アメリカの文化を肌で感じることができ、毎日が驚きの連続で、充実した日々を送ることができました。そして、何よりもアメリカのよさをたくさん感じた3週間でした。今回の経験から、国にはそれぞれいい所があって、その良さを認め合っていくことが大切だなと思いました。また、自分自身の英語力を向上させたいという気持ちがさらに芽生え、今後の目標ができました。本当に貴重で素晴らしい経験と多くの大切な繋がりができました。本当に行ってよかったです。

○中等教育教員養成課程2年

私は自分の英語にはあまり自信をもっていませんが、実際行ってみると案外言いたいことは伝わりました。何事も挑戦しては慣れることが大事だと今でも感じています。留学にも前向きになり、将来は海外で働くという選択肢もあることに気づきました。

○共生社会教育課程3年

本やインターネットでアメリカの文化はたくさん知ることができますが、やはりその文化に身を投じてみなければ分からないこともたくさんありましたし、より深く学ぶことができました。もちろん、アメリカの文化の良いところや優れている面もたくさん学ぶことができましたが、私達が無気なく生活している日本の良さや優れているところなども改めて実感することができました。

これを機に、他の国の文化などにも触れて見たいと思うようになりましたし、留学や他の海外研修に対して前向きに考えるようになりました。また、日々の英語の勉強のモチベーションアップにも繋がりました。

私は中学校の英語の教員を目指していますが、ただ英語の文法や用法を教える授業ではなく、子どもたちが外国の文化や習慣などを、英語を通して学び、子どもたち自身の将来に対する考え方や視野を広げられるような授業ができたらと思っています。

今回の研修は自分自身がアメリカの文化に浸ることでそれらをより深く学ぶことができ、

将来授業をする上での大きな材料を得ることができました。直前の実習でも今回の経験や学んだことを子どもたちに伝えることができたらいいなと思います。

○初等教育教員養成課程2年

私はアメリカの文化に触れることで、その国の良さをたくさん感じた。特に今回多く触れた教育では、給食や行事、学年の区分など日本とは全く異なっていた。そして大学の授業の時、積極的に参加する態度は日本ではあまり見ない光景だと思った。初めは頭の中で整理してから伝えようとしていた英語も、現地の人達とたくさん会話を交わすことで自然と出てくるようになった。この経験を生かして多くの世界の教育を学んでいきたい。

○教科教育創造コース（院）（英語）1年

研修に参加する前は、アメリカに対する私の偏見ですが、銃社会や第二次世界大戦のこともあまりいいイメージはなかったです。ただ昨年度このプログラムに参加された先輩からの強い勧めで参加してみようかなと軽い気持ちで参加しました。行ってみると先生方やホストファミリーはとてもフレンドリーで、温かく迎えてくれました。

英語が拙い私の話を熱心に聞いてくれて、こんな風に言ったらいいよ！などとアドバイスをいただき、まさに生きた英語を学ぶことができました。私が一番このプログラムで良かったと思うところは、学校訪問です。日本とは違う学習スタイルを見たり、日本文化を誰の助けも借りずに自分たちで伝えたりするところは普段経験できないので、今後の財産になったと思います。

研修参加前と後では、小学校教諭になりたいということは変わりませんが、留学した経験を子供たちに伝えていきたいと強く思いました。先生によるとは思いますが、アメリカのどの学校も子どもたちが自由に勉強している感じがしました。とても楽しそうに生き生きして、そんな授業や雰囲気を作れる教師になりたいです。

○初等教育教員養成課程1年

短期研修に参加する前は、高校の時に修学旅行でアメリカに行っていたので、英語はがんばれば話せると思っていました。しかし、約3週間アメリカに行ったら、自分の伝えたいことはなんとなく話すことができるけれど、聞き取りが全くできず、海外の人との会話が弾まないなと思い、改めて自分の英語力の低さを実感しました。英語を勉強したいという気持ちになりました！

また、今回の研修ではアメリカの教育制度を見ることができてとても良かったです。アメリカは日本と比べてとても自由な教育を行っていることがわかりました。日本は規則に縛られすぎているとも思いました。自分のしたいことを小中学校からやることができるアメリカは素敵な国だとも思いました。加えて、アメリカには多くの民族がいて、みんなが個性を認め合っているように感じました。

今回アメリカで得たたくさんの体験などを、将来子どもたちに伝えて、差別をせず、海外にも目を向けられるような子どもを育てたいと思いました。また、海外留学に行きたいという気持ちも強くなりました。

○初等教育教員養成課程2年

異文化を理解するため、また、言語力を向上させるために一番良い方法は、実際に国外へ行くことだと実感しました。私は今回初めてアメリカを訪れて、初めて見たもの、初めて知ったことや気づいたことが沢山ありました。また、アメリカではホストファミリーやバディ学生を含め、英語を通じて様々な人と関わりを持つことができました。英語でなければいけない状況に自分の身を置くことで、英語力は確実に向上したと思います。

さらに、スクールビジットを通して、モンテッソーリ教育など新しい教育システムに興味をもつことができました。これから、留学で興味をもったことに関してより追求し、理想の教師像に近づいていきたいと思っています。

○初等教育教員養成課程2年

今までアメリカの大きな観光地には行ったことありましたが、ウィスコンシン州ラクロスのような日本語を話せる人がいないようなところに行ったことがありませんでした。まだまだ自分の英語力が足りないことを感じ、日々精進する気持ちになるとともに、異文化間の違いをより勉強したいという気持ちになりました。

また、今まで漠然と留学したいという思いでしたが、より留学したいという思いが強くなり、具体的に留学して何をしたいのか考えるようになりました。